

第1学年 音楽科学習指導案

平成 17 年 9 月 26 日 (月) 第 4 校時

第1学年 C 級 (男子 21 名, 女子 20 名)

指導者 安部 由美



1 単元 音楽による表現の豊かさ

2 目標

- (1) 比較鑑賞することによって、楽しく鑑賞しようとする態度を養う。
- (2) 歌曲の雰囲気や曲想を感じ取り、朗読における表現の工夫ができるようにする。
- (3) 比較鑑賞を通して、音楽表現の違いを感じとる能力を育成する。
- (4) 詩と音楽によって表現された情景を味わいながら鑑賞できるようにする。

3 指導観

- 本単元は、比較鑑賞することによって楽しく鑑賞することを知り、音や声による表現の豊かさを味わうことをねらいとしたものである。豊かな音楽表現によって生み出される、曲の雰囲気や曲想を感じ取ってくることは、鑑賞をする上で大変重要なことである。ここで取り扱う教材「魔王」は、ゲーテの詩にシューベルトが作曲した1つの物語になっている歌曲である。これと、同じゲーテの詩にレーヴェが作曲した「魔王」とを比較鑑賞することで、多様な表現方法の違いを鑑賞することの楽しさを知ることができる。そのため、意欲的に鑑賞する態度を養う上でも適している。そして、両者ともそれぞれの登場人物の心理の変化が、音の高さや歌い方の変化で表現できるように作曲されている。したがって、生徒にとって、詩の情景が音楽でどのように表現されているのかを感じ取りやすく、音楽表現のおもしろさを味わわせるとともに、音楽による表現の豊かさを感じ取らせるのに適している。このように、学習指導要領の第1学年の目標として掲げられている、「音楽活動の楽しさを体験することを通して興味・関心を養うこと、また音楽表現の豊かさを感じ取り、創造的に表現する能力を育てること」を達成する上でも意義深い。
- 本学級の生徒はこれまでに、ヴィヴァルディ作曲の「春」の鑑賞を行った。「魔王」は2回目の鑑賞の授業で、比較鑑賞するのはこれが初めてである。「春」の鑑賞では、音楽によって表現された情景を味わいながら、鑑賞する学習を行った。強弱や速さ、そして音の高さや楽器の音色の違い、といった音楽表現によって生み出される情景を想像しながら、味わって聴く生徒が全体の4分の3いた。この単元では、音楽と情景との関わりに加え、音楽表現の豊かさを感じ取る能力を養う必要がある。
- そこで本単元の指導にあたっては、比較鑑賞し感じたことを発表し合うことによって、さまざまな表現方法があることを知り、音楽表現の豊かさを感じ取ることができるようにしていきたい。そして朗読することによって、生徒が自分なりの表現の工夫ができるような授業展開をしていきたい。とくにシューベルトとレーヴェ作曲の「魔王」を鑑賞することで、両者が雰囲気や曲想、登場人物の言葉をどのように表現しているか、また登場人物の心理の変化が、どこでわかるかを聴き取れるようにすることができる。その上で、多様な表現方法に気付くことが出来るように、歌い手が、登場人物や人物の気持ちの変化を歌い方や歌い分けで、どのように表現しているのか注目させるために、登場人物についての確認をする、という手立てをする。その後、両者の「魔王」の共通点、相違点をまとめさせることによって、鑑賞の楽しさを知り、音楽表現の豊かさを感じ取る能力を養いたい。比較鑑賞によって表現の豊かさを学んだ後、朗読における表現の工夫の場を設定する。まずグループに分けて、登場人物をグループ内で分担させ、表現の工夫ができるようにする。その後両者の「魔王」の歌詞を朗読し、発表し合うことで、表現することの楽しさ、表現の豊かさを分かち合うことができるようにしたい。このような学習で、音楽による表現の豊かさを味わう能力を養いたい。

4 指導計画

音楽による表現の豊かさ	2時間
(1) 比較鑑賞することで学ぶ表現の豊かさについて	1時間 (本時)
(2) 朗読における表現の工夫について	1時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

- 多様な表現方法を楽しく感じ取ることができる。

(2) 資料及び準備

教科書、歌詞カード、CD、再生機器、ワークシート、ホワイトボード、画用紙

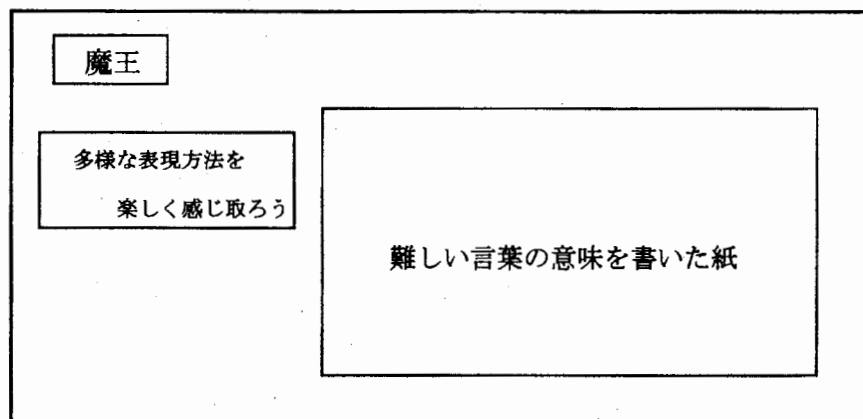
(3) 指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 本時の目標を確認する。 多様な表現方法を楽しく感じ取ろう	○「音楽博士になろう」という導入で、本時の活動に興味・関心を持てるような手立てをする。 ○本時の活動への意欲を高めるために、目標を提示する。	2分
2 本時の学習内容を確認する。 ○本時の学習内容がシューベルトとレーヴェによって作曲された歌曲「魔王」の比較鑑賞であることを確認する。	○本時の学習内容がシューベルトとレーヴェによって作曲された「魔王」の比較鑑賞であることを明らかにすることで、学習における意欲の継続を図る。	3分
3 比較鑑賞する ○一人で4役を歌い分けていることを知る。 ・語り手 ・子 ・父親 ・魔王 ○全員で、シューベルトとレーヴェ作曲の「魔王」の日本語歌詞を確認する。 ○シューベルト、レーヴェの順に鑑賞し、個人で聴き取ったことを書く。	○1人で4役を歌い分けているという特徴に興味を持つことができるように、4役が登場するということを確認する場を設定する。 ○次の活動がスムーズに行えるように、歌詞カードと教科書、そして難しい言葉の意味を書いた画用紙で歌詞確認をする場を設定する。 ○CDを準備する。 ○聴き取りやすくするために、ワークシートを準備し、ピアノ伴奏や歌い方、音の変化などについて説明する。	25分
4 比較鑑賞の内容を明らかにする。 ○グループで、個人が聴き取った内容を基にシューベルトとレーヴェの「魔王」の共通点、相違点を画用紙にまとめる。 ○全員で、グループで出た共通点、相違点を確認しあう。	○7人か6人で構成された合計6つのグループをつくる場を設定する。 ○グループで出た2つの「魔王」の共通点、相違点を画用紙に書き、ホワイトボードに貼るよう助言する。 ○全員で意見を分かち合うことができるようにするために、グループ代表者の発表の場を設定する。	45分
5 本時の学習をふりかえる。	○鑑賞の楽しさ、表現の豊かさを感じられるように、生徒が、自ら共通点・相違点を見つけ出したということに気付く場を設定する。	48分

6 次時予告を聞く。	○次時は本時をふりかえり、それぞれの曲の情景や 雰囲気を確認し、グループに分かれて朗読の発表会を 行うことによって、表現の工夫をすることを告げる。	50 分
------------	---	------

6 板書計画

板書計画：1 枚目



板書計画：2 枚目…比較鑑賞してグループでまとめたシューベルトとレーヴェの「魔王」の共通点
相違点を書いた画用紙を貼る

